

2022年5月27日

コラーゲン使用人工骨「ボナーク®」を6月より出荷開始

当社は、コラーゲン使用人工骨「ボナーク®」(以下、「本製品」)について、国内医療機関等における口腔領域での使用を目的として、ストローマン・ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:嶋田 敦)および株式会社モリタ(本社:大阪府吹田市、代表取締役社長:森田 晴夫)を通じて、2022年6月より出荷を開始する予定です。^{※1}



左:ロッド(1個入り)直径9.0mm、厚さ10.0mm、右:ディスク(10枚入り)直径9.0mm、厚さ1.5mm

本製品は、リン酸オクタカルシウム(OCP)とコラーゲンから成る複合体です。上下顎骨の骨欠損部の再生を目的として、インプラントの植立の前提となる骨再生や、顎裂(がくれつ)・嚢胞腔(のうほうくう)における骨再生の治療を対象とします。本製品の治験では、インプラント植立を前提とした症例:47例、顎裂:8例、嚢胞腔:5例の合計60例を実施し、有効性と安全性を確認しました^{※2}。顎裂治療における使用については保険適用を申請中です。

今後、歯科材料販売で豊富な実績を持つストローマン・ジャパン株式会社、株式会社モリタと連携し、本製品の拡販に努めていきます。

■「ボナーク®」について

販売名	: ボナーク
一般的名称	: コラーゲン使用人工骨
承認番号	: 30100BZX00025000
製造販売元	: 東洋紡株式会社

※1: 企業名は五十音順で掲載しています。

※2: Tadashi Kawai, et al. Clinical study of octacalcium phosphate and collagen composite in oral and maxillofacial surgery. J Tissue Eng 2020; 11.

本プレスリリースには、製品についての情報が含まれておりますが、これらはプロモーション、広告を目的とするものではありません。

以上